

大阪市ごみ減量アクションプラン ~市民の行動メニュー~

ごみ減量のためにできること・・・

買い物をするとき

ステップ
1

お出かけの時には
エコバッグを携帯しましょう

お出かけの際はエコバッグを
携帯し、レジ袋を使用しない
生活を実践しましょう。



詰め替え商品やコンパクト
商品などを選びましょう

洗剤、シャンプーなどを購入する際には、
詰め替え商品や濃縮されたコンパクト
商品を選びましょう。



過剰な包装は断りましょう

中身を取り出せばすぐ不要にな
ってしまう過剰包装を断りま
しょう。



再生品を選びましょう

トイレットペーパーや文房具
などを購入する際には、再生
品を選びましょう。



ばら売りや量り売りの
商品を選びましょう

野菜、果物、肉などを購入する際は、
ばら売りや量り売りのものを選び、
必要な量だけを買うようにしま
しょう。

ステップ
2

使い捨て商品の使用を
控えましょう

長く使えるものを選び、大切に
使うことが、ごみを減らし環境
にもやさしい生活につながります。



レンタル品や中古品を
利用しましょう

ベビー用品や旅行用品など短期間
しか使用しないものについては、
できるだけレンタル品を利用しま
しょう。また、家具、衣類、家電製品
などについては、リユースショップ
を利用する方法もあります。



ステップ
3

エシカル消費を実践しましょう

環境への負荷が少ない商品を選んで
買物したり、必要な食品を必要なとき
に必要な量だけ購入して食品ロスを
減らしたりするなど、地球環境の現
状や問題を意識した消費活動である、
エシカル消費を実践しましょう。



■再生品を選ぶには、エコマーク、グリーンマークなどの
「環境ラベル」を目印にしましょう。



エコマーク…商品の「生産」から「廃棄」にわたる
ライフスタイル全体を通じて、環境への負担が少なく、
環境保全に役立つと認められた商品についています。



グリーンマーク…古紙を再生利用した商品（ノート、
コピー用紙、トイレットペーパー等）についています。



牛乳パック再利用マーク（パックマーク）…牛乳パックを
再生利用した商品（トイレットペーパー等）についています。



Rマーク…再生紙を使用した印刷物等について
います。右の数字は古紙割合を表しています。



PETボトルリサイクル推奨マーク…使用済みのPETボトルか
らリサイクルされた商品（繊維、文房具等）についています。

ワンポイント
コーナー

● レジ袋削減に向け

**「エコバッグ、
いつでもどこでも
携帯を！」**



大阪市では、プラスチックごみの削減に向け、
事業者・市民団体とともに、大阪エコバッグ運
動等の取組を実施し、全ての市民が急な買物
の時も含めてレジ袋を使用することのない
よう、エコバッグを常に携帯する運動の拡大
をめざした取組を進めています。

ごみ減量のためにできること…くらしのなかで

ステップ1 食べ残しをしないようにしましょう
食事を作りすぎたり、注文しそうたりしないように注意し、食べ残しをしないようにしましょう。

ステップ2 食品の品質や期限表示をこまめにチェックしましょう
商品を購入した後は、冷蔵庫や食品棚の食品の品質や賞味・消費期限などをこまめにチェックして、無駄なく使い切るようにしましょう。

ステップ3 生ごみの減量に取り組みましょう
野菜などの食材は、できるだけ無駄なく使い切るように心がけ、生ごみの発生を減らしましょう。

地域や学校などで、ごみの減量活動に取り組みましょう
ガレージセールの開催や資源物の集団回収など、地域や学校などでごみの減量活動に取り組みましょう。

ごみ減量のためにできること…いらなくなつたものを活かすために

空き缶・空きびん・ペットボトル・金属製の生活用品・スプレー缶・カセットボンベ類は、資源ごみ収集に出しましょう。※12ページをご参照ください。
※「みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト」に取り組まれている地域の皆さまは、その活動にペットボトルをお出しください。

新聞・段ボール・紙パック・雑誌などの古紙や衣類は、地域のコミュニティ回収や資源集団回収または古紙・衣類収集に出しましょう。
※7、12ページをご参照ください。

商品を包んだりしていたプラスチック製の容器や包装、100%プラスチック素材でできている製品は、プラスチック資源収集に出しましょう。
※11ページをご参照ください。

蛍光灯や水銀体温計、インクカートリッジなどは拠点回収をご活用ください。
※14ページをご参照ください。

食品トレイなどは、販売店などの店頭回収に出しましょう。
回収された食品トレイは、再生トレイやプラスチック製品（ビデオテープ、ハンガーなど）に再生利用されます。

充電式電池は、販売店回収または、受付回収や訪問回収をご活用ください。
※14ページをご参照ください。

まだ使えるものは、必要としている人に譲りましょう。
ベビー服、子ども服、家具など、まだ使えるものは、知り合いに譲ったり、ガレージセールやリユースショップを利用して必要としている人に譲りましょう。